

## 労働調査協議会「2011年度 定期総会」のご報告

会員各位におかれましては、定期大会などで日々ご多忙のことと存じます。

労働調査協議会「2011年度 定期総会」が、6月21日(火)にホテルラングウッドにおきまして、会員各位のご協力により成功裡に開催され、今後1年間の活動方針を決定致しました。以下、総会の決定事項につきまして、ご報告申し上げます。今後とも、より一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本総会は、議長に斉藤千秋氏(電機連合 総合研究企画室 事務局長)を選出し、進められました。議事に先立ち、理事を代表して野田三七生代表理事、事務局を代表して小倉義和から挨拶がありました。その後、議案の審議に入り、事務局より2010年度の調査研究活動および組織・財政報告、会計監査の荒川洋氏(全印刷局労組 参与)より会計監査報告が行われました。引き続き、事務局より2011年度の活動方針、役員選考委員(全電線 中央書記長 中條弘之氏、日教組 書記次長 木下哲郎氏)を代表して中條弘之氏より2011年度の役員改選がそれぞれ提案され、全議案とも満場一致で可決されました。

最後に、今総会で退任する小俣利通前理事、井出久章前専務理事の挨拶後、新役員を代表して南雲弘行理事から挨拶があり、議長挨拶をもって終了致しました。

### 【主な決定事項】

(1)調査研究活動の推進では、以下の点に重点的に取り組むことを提案し、承認されました。

労調協独自の調査研究としては、共同調査「(仮)今“つながり”に求められていること～関係性の現状と課題～」を実施し、2012年下期を目途に報告書としてまとめていくことになりました。

組合活動に役立つ調査に向けたユーザー・ニーズの的確な把握に、引き続き努めていくことになりました。

(2)会員組織の充実と拡大については、以下の点に重点を置いた取り組みを進めることを提案し、承認されました。

会員のニーズに的確に対応できる「コンサルタント」機能の充実を図るために、専門的な立場から積極的な協力体制を築いていくことになりました。

労働組合間のネットワークづくりの一環として、共同調査あるいは同一テーマ等による調査をもとに、調査実施組合における「意見交換会」を引き続き開催することになりました。

事務局体制に関しては、定年退職者対策ならびに次世代の事務局体制の構築を目指し、調査研究体制の整備を図っていくことになりました。

「労働調査セミナー」、機関誌『労働調査』、「労調協ホームページ」の内容の充実を図り、情報発信機能を強化していくことになりました。

### 【2011年度新役員】

理 事 連合 事務局長	南雲 弘行	理 事 J P 労組 副委員長	戸田 庄一(新)
理 事 電機連合 書記長	浅沼 弘一	理 事 自治労 書記長	岡本 博
理 事 情報労連 副委員長	野田 三七生	理 事 事務局	小倉 義和
理 事 基幹労連 事務局長	工藤 智司	理 事 事務局	加藤 健志(新)

---

会計監査 J E C 連合 政策・企画センター 賃金政策局長 前田 篤志

会計監査 全印刷局労組 参与 荒川 洋

なお、J P 労組書記長 小俣利通前理事、井出久章前専務理事は、今総会で退任致しました。長い間のご厚誼に感謝申し上げます。

---

### 「第149回 定例理事会」のご報告

総会終了後、引き続き「第149回 定例理事会」を開催し、代表理事として南雲弘行、浅沼弘一、野田三七生の各氏、専務理事として小倉義和を互選し、加藤健志を事務局長に選任しました。